

銘柄豚肉の開発、生産グループの組織化等による体質強固な養豚経営

- 氏名又は名称 山道 義孝
- 所在地 宮崎県児湯郡川南町
- 出品財 経営（養豚）
- 受賞理由

・地域の概要

宮崎県川南町は日向灘に面した宮崎県のほぼ中央に位置し県内でも有数の農業地帯である。特に畜産が農業全体の 7 割を占めている。冬季間は温暖な気候に恵まれるが、夏季は高温多湿で台風の通り道となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

山道義孝氏は昭和 44 年に 20 歳弱で母豚 7 頭の繁殖経営からスタートし、昭和 47 年には（有）宮崎第一ファームを設立した。以後徐々に増頭して母豚 300 頭の一貫経営に移行した。平成 12 年には母豚 450 頭規模まで増頭することとし豚舎を増築した。その後、無理をせず豚にやさしい環境で健康的に飼養することによって、消費者ニーズに合致した高品質な豚肉の生産に努めることを経営方針の中心に据え 370 頭まで縮小。現在、高い生産性と安定した収益性を実現している。

・受賞者の特色

(1) ブランド豚肉「あじ豚」の開発

肉豚の品種の組合せについて、同一品種でも「系統」まで吟味して交雑方法を統一し、また、血統とともに肉質に大きく影響する配合飼料についても飼料メーカーと共同して独自の肥育仕上げ用飼料を開発することにより高品質なブランド豚肉「あじ豚」を開発した。

(2) 体質強固な養豚経営の確立

飼養環境を改善することにより母豚のストレスを軽減し、極めて優れた繁殖成績を実現した。また、管理獣医師による衛生プログラムを導入して健康な状態で飼育管理することにより、事故率を低下させ高品質なブランド豚生産を高い生産性のもとに実現した。

さらに、年間統一した枝肉販売価格の設定や飼料の一括購入による購買条件の改善により収益性を向上。自己資本率も平成 19 年度の 53% から平成 20 年度には 57% に高まっており、財務面での安定性も大変高い水準にある。

また、出品財とは別に、直売所と直営レストランを営業しており、「あじ豚」需要の安定化、加工品販売による収益増、消費者ニーズの把握を行っている。

(3) 「あじ豚」生産グループの組織化と抜群のリーダーシップを発揮

「あじ豚」生産グループの構成員が生産する豚肉の斉一性を高めるため、グループ内に対しては種豚、交雑方式、飼料の統一を求める一方で、肉豚価格や配合飼料価格の有利な取引条件を業者から取り付け、さらには「あじ豚」の営業活動や販売促進、お得意様へのアフターケアやクレーム処理も自らが先頭に立って実行する等。抜群のリーダーシップを発揮している。

普及性と今後の発展方向

優れた品質の豚肉を生産するグループと、信頼感をもって購入できる豚肉を求めるユーザーのマッチングにより、安定した収益が確保できる養豚経営を実現した成功事例として評価され、他の地域でも普及性を有するものである。

今後は、「あじ豚」のさらなる美味しさを追求し、ブランド力を高めるとともに、高温多湿な南九州における飼養管理を見直し、アニマルウェルフェア（快適性に配慮した家畜の飼養管理）の考えに対応した飼養形態へ移行していく。